

県道山口防府線の道路渋滞対策について

1 取組状況

(1) 調査等

①市内一円における交通量調査

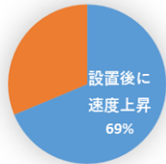
- 交通実態調査（カーナビゲーションシステム活用）【実施中】 市
- 現地交通量調査（市内30箇所）【実施中】 県・市

②中央ゼブラゾーンの効果検証

- 旅行速度調査（中央ゼブラゾーン設置区間）【実施済】 県

中央ゼブラゾーン設置前後における旅行速度を測定したところ、約7割の測定結果において設置後の旅行速度の上昇がみられ、渋滞対策として一定の効果があつたことを確認した。

中央ゼブラゾーン設置前後における旅行速度の比較



○アンケート調査での利用者の声

【効果例】

- ⇒本線上に右折するための停止車両がいなくなり、走りやすくなった。
- ⇒沿線店舗等へ出入りする左折車の脇を通り抜けやすくなった。

(2) 渋滞対策

1) 短期

①中央ゼブラゾーンの設置 県

- 一定の効果が確認されたことから、下記の区間で中央ゼブラゾーンを追加設置。【検討中】

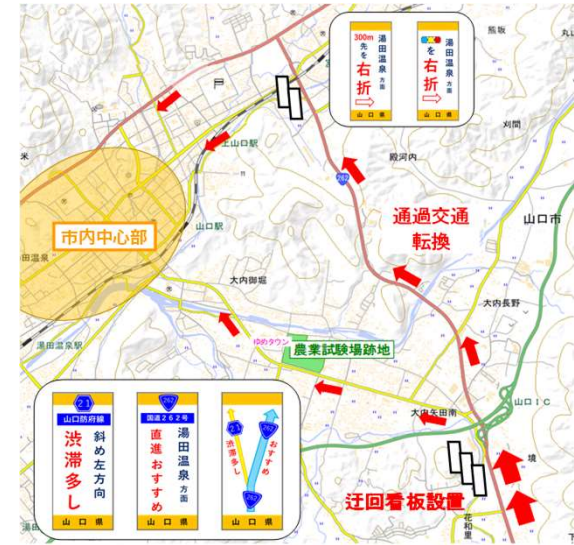


②ソフト対策

○迂回看板設置【実施済】 県

- ・防府方面から湯田温泉等の市内中心部への通過交通を、国道262号へ転換させるため、国道262号から山口防府線へ分岐する付近等に、看板を設置。

（事前の交通量調査済）



③交差点改良等 県

- 過去の交通量調査の結果を参考に、交通の転換等により山口防府線の渋滞緩和に寄与すると想定される交差点・路線について現地確認した。（対策については検討中）

2) 中長期 県・市

- 事業中路線の整備を進めるとともに、都市計画道路の検討・整備やその他の路線の拡幅について検討。
- ノーマイカーデーなどのTDMの検討。

2 今後（令和6年度）の取組

- 中央ゼブラゾーンの追加設置
- 迂回看板の効果検証
- 令和5年度の交通量調査結果を踏まえ、交差点改良等の短期対策や事業中路線の整備等の中長期対策を検討